

令和3年

きゅうしよく

# 6月の給食だより

大山給食センター



## 6月は食育月間です！

平成17年度に「食育基本法」が制定され、毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」と定められました。

「食育」とは、生きる上での基本であり、知育、徳育、体育の基礎となります。学校では、「給食を食った教材」として栄養バランスや旬の食材、地域の食材、食事のマナーについて日々指導しております。

6月の食育月間に合わせて、ご家庭でも「食育」を行ってみてはいかがでしょうか？

よく噛んで食べよう



## 今月の行事食

### 6月14日：ぐんぐあちぐにち(旧暦5月5日：沖縄版端午の節句)

◇旧暦の5月5日は「ぐんぐあちぐにち」とウチナー読みした行事名で沖縄の端午の節句です。この日にはあまがしをつくり、菖蒲の葉の匙でいただいたそうです。この頃は農家の人にとって稲刈の大事な時期なので、わるい病気が流行らないように、匂いの強い菖蒲の葉を用いて悪いものを取り払うようにしていたそうです。この日の給食にはあまがしが出来ます。

### 6月22日：(6/23：慰霊の日)にちなんだ献立

◇6月23日は、沖縄県で日本軍の組織的な戦闘が終わった日とされており、戦争で亡くなった26万人あまりの人々の死を悼み、慰める日です。

沖縄という小さな島で約3か月間も戦争が続きました。亡くなった人の中には、兵隊や看護婦としてかり出された中学生や高校生、体の不自由な人たち、子どもや赤ん坊もたくさんいました。終戦後も人々は貧しく、食べ物もないため苦しみ、ふかし芋と生みそだけが食事ということも珍しくありませんでした。

給食では、21日を「慰霊の日)にちなんだ献立」にしています。戦争中の大事な食べ物であった「さつまいも」と「さつまいもの葉(カンダバー)」をとり入れています。この機会に戦争について考え、食べ物を大切に作る心も育んで欲しいと願っています。

### 6月24日：(旧暦5月15日：5月ウマチー)

◇旧暦の5月15日は稲の収穫に感謝する「5月ウマチー」です。ウマチーは祭りのことで、「5月ウマチー」は「稲穂祭」のことです。初めてできた稲の穂を火の神、仏壇に供え「収穫まで無事に育ちますように」と豊作を祈る行事です。昔は、農家の人たちは、ウマチーの日にしか仕事を休むことができませんでした。農業は大切であり、大変な仕事です。いつも感謝の気持ちを忘れずに食事をするといいですね。

## 6月の給食目標 ～衛生に気をつけよう～

◆ジメジメムシムシ...ばい菌にとって過ごしやすい季節になりました。この季節は、食中毒菌があつというまに増えてしまいます。食中毒を予防するために「つけない・ふやさない・やっつける」この3つを心がけましょう！



◆手をあらう



◆れいぞうこにすぐしまう。放置しない。



◆しっかり火を通す